

令和 3 年度
東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜一次試験

鉛筆写生
石膏像デッサン

令和 3 年 2 月 28 日 (日) 9 : 00 ~ 16 : 00

問題

台上に置かれた石膏像を与えられた画用ボードに
鉛筆デッサンしなさい。

条件

- ・画用ボードは縦位置とする

提出物

- ・鉛筆デッサン作品

注意事項

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に反するものは失格とする

指定された持参用具

鉛筆写生に必要な用具一式
(画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です)

採点基準

与えられた対象物を観察し、得られた諸要素を再構成する能力及び基礎的な描写能力を
審査する

令和 3 年度
東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜一次試験

鉛筆写生
石膏像デッサン

令和 3 年 3 月 1 日 (月) 9 : 00 ~ 16 : 00

問題

台上に置かれた石膏像を与えられた画用ボードに
鉛筆デッサンしなさい。

条件

- ・画用ボードは縦位置とする

提出物

- ・鉛筆デッサン作品

注意事項

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に反するものは失格とする

指定された持参用具

鉛筆写生に必要な用具一式
(画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です)

採点基準

与えられた対象物を観察し、得られた諸要素を再構成する能力及び基礎的な描写能力を
審査する

鉛筆写生
構成デッサン

令和 3 年 3 月 2 日 (火) 9:00~16:00

問題

自分の手と与えられたモチーフ 3 種 (アルミホイル、ガラスコップ、荒縄)
を自由に構成して、与えられた画用ボードに鉛筆デッサンしなさい。

条件

- ・画用ボードは縦位置とする
- ・自分の手とモチーフ 3 種は画面内に各 1 点以上描写すること
- ・アルミホイルは加工してもよい
- ・モチーフを入れた紙袋はモチーフではない。紙袋は描かないこと

配布物

- ・荒縄 1 本 (100cm)
- ・アルミホイル 1 枚 (60×25cm)
- ・ガラスコップ 1 個
- ・草案用紙 (B4 コピー用紙) 5 枚

提出物

- ・鉛筆デッサン作品

注意事項

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に反するものは失格とする

指定された持参用具

鉛筆写生に必要な用具一式
(画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です)

採点基準

与えられた対象物を観察し、得られた諸要素を再構成する能力及び基礎的な描写能力を
審査する

令和3年度

東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜二次試験

デザイン I [色彩]

令和3年3月10日(水) 9:00~15:00

問題

与えられたモチーフ（小松菜・おこし金・菜箸）と水の表情（任意）を組み合わせて、B3画面に色彩構成をなさい。

□ 条件

- ・与えられたモチーフ3種は画面内に各1点以上配置すること
- ・おこし金に映り込んだものを描いてもよい 但し、自身の顔は描かないこと
- ・おこし金に映り込んだ世界は想像でも構わない
- ・小松菜は袋を外して使用。袋はモチーフではない
- ・アイデアスケッチは配布された草案用紙（B4サイズ）を使用すること
- ・イラストボード（B3サイズ）は横位置とする

□ 配付物

- ・小松菜（1束）・おこし金（1本）・菜箸（1組）
- ・B3イラストボード（1枚） ・草案用紙（B4サイズ×5枚） ・雑巾（1枚）

□ 提出物

- ・色彩作品（B3イラストボード、横位置）

□ 注意事項

- ・問題用紙及び配付物はすべて机上に残すこと
- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み、使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に違反した場合は、失格とする

指定された持参用具

色彩表現に必要な用具一式（絵具は水性絵具を使用）、鉛筆、消ゴム、カッターナイフ、直定規（60cm以下）、三角定規、コンパス

採点基準

出題をどのように理解し、構想したかとともに、色彩及び平面構成の造形能力を審査する

令和 3 年度

東京藝術大学 美術学部 デザイン科 入試選抜二次試験

デザインⅡ [形体]

令和 3 年 3 月 11 日 (木) 9:00~15:00

問題

「感情の手」を作品の大テーマに、下記に示した《人間の感情》の中から一つ選び、美しく立体構成しなさい。

《人間の感情》 喜び / 怒り / 慈しみ / 驚き / 悔しさ

また、完成した作品の物語やイメージを配布された用紙に『詩』の形式で表現しなさい。

□ 条件

- ・表現する手は両手、片手、手の数など自由。またその他の要素などを加えてもかまわない
- ・立体は与えられた粘土のみを使用し、容量内で制作すること
- ・高さは30cm以内とし、粘土板からはみ出ないこと
- ・自立すること
- ・粘土べらは加工しないこと
- ・作品の中に芯は入れないこと
- ・「詩の記入用紙」には《受験番号》と《人間の感情》を必ず明記すること。(例) 怒り
- ・試験終了後に「テーマ表記シール」に《人間の感情》を記入して粘土板に貼る作業があるので指示に従うこと

□ 配付物

- ・粘土(3kg × 2個) ・粘土板 ・粘土べら(1セット)
- ・草案用紙(B4サイズ × 5枚) ・雑巾(1枚) ・新聞紙(2枚) ・画鋲(2個)
- ・詩の記入用紙(A4) ・テーマ表記シール ※終了間際に配布する

□ 提出物

- ・形体作品(粘土、粘土板上に配置) ・詩の用紙(A4)

□ 注意事項

- ・問題用紙及び配付物はすべて机上に残すこと
- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み、使用を禁止する
- ・携帯電話及び撮影・通信機能の備えた電子機器の使用を禁止する
- ・他の受験生に迷惑のかかる用具の使用や行為を禁止する
- ・条件及び注意事項に違反した場合は、失格とする

指定された持参用具

鉛筆、消ゴム、カッターナイフ、直定規(60cm以下)、三角定規、コンパス

採点基準

出題をどのように理解し、構想したかとともに、形体及び立体構成の造形能力を審査する